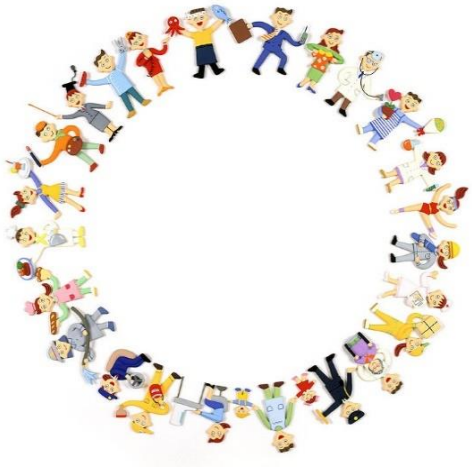
コロナ禍でも！

俺たちにできる
社会貢献



Come Come Community

今年度の事例発表内容を検討するにあたり、昨年度の北2階利用者の希望要望を見てみました。

様々な意見があった中で、外出や家族に会いたいという希望が複数あり、社会とのつながりが希薄になっている表れと感じました。

利用者の皆さんの気持ちはよく分かるものの、コロナ禍の元でどうしたら社会とのつながりを感じられるのか・・・

社会とのつながりは、「自分も社会に必要とされている」という自己肯定感にもつながり、日々の生活の潤いになると思います。

そこで、いくつかの選択肢を示しながら、北2階利用者の皆さんと話をしました。

そこで出たのが、**「社会貢献をして、社会とつながりを持とう」**という意見です。

なかなか外出もままなりません。そんな中で社会貢献するには･･･**寄付！**

パッと頭に閃いたのは、ベルマークでした。

ベルマークであれば、もともと購入した品物についていればそれを切り取るだけで良く、寄付先は学校等の見込みがあります。

皆さんからも「やってみよう」との意見でまとまりました。

寄付をするには、集めなければなりません。

集めるために、皆さんにしてもらった事・・・

①ベルマークを入れる為の箱を作りました。

②ポスター作りとして、

　昨年度の秋祭りで描いてもらった似顔絵を皆さんから貸してもらい、ポスターや箱に活用させてもらいました。

　一言書いてもらい、ポスターや箱に添えさせてもらいました。

③箱を事務所と中央介護員室に置かせてもらう際に、利用者の方も一緒に行き、ご協力のお願いをしました。

募集期間を12月31日までとしていたので、年明けに箱を回収させてもらいました。

すると、こんなにたくさんのベルマークが！！

皆様のご協力、
本当に
ありがとう
ございました！！

頂いたベルマークを、1枚1枚丁寧にカット

ベルマークに記載された番号別に仕分けていきます。

寄付する学校は、かしわ荘とつながりのある学校が

良いという事で、第五中学校が候補にあがりました。

第五中学校の担当者の方に

ベルマーク寄付の話をさせてもらうと、

「是非に」との事。

また、

取りに来ていただけるとの事でした。

☚似顔絵と共に、利用者の
皆さんから一言頂きました。

1月27日夕方、第五中学校の先生がかしわ荘へ、ベルマークを取りに来てくださいました。

番号別に仕分けてある事を大変喜んで下さりました。

【感想】

やってみて嬉しいというか、「いいな」って思いました。

地域との繋がりが残るのはいい取り組みだなと思いました。

また、

今後も地域との親交があった方がいいんじゃないか。

繋がりがあった方がいいと思う。

といった感想も聞かれました。

【最後に】

この取り組みに、主に参加していた方々がいますが、その他にも様々な形で北2階の皆さんに

協力を頂きました。

今回の地域貢献の取り組みが、北2階の皆さんの自己肯定感に少しでも繋がり、

よりイキイキとした毎日が過ごす事ができれば、幸いです。

北2階　Come Come Community